

## 2022年度 夏季活動報告

### 中間 報告会

8月17日MRTmiccダイヤモンドホールにて中間報告会を開催いたしました。

当初、例年通りの「中間懇親会」の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染者数の急増により、飲食を伴わない「報告会」として開催いたしました。一番の目的であった「コロナ禍において希薄になってしまった先輩方との絆を取り戻す」という点においては十分でなかったと感じております。しかし、3年ぶりに実地開催を行い、先輩方にJCI宮崎の現状をご報告できたことは、大きな前進であったと考えております。ご出席いただきました皆様、誠にありがとうございました。

<青少年育成委員会> 委員長 佐藤 学



### リカレント 事業

7月28日にリカレント教育モジュールⅣ、8月24日にリカレント教育モジュールⅤを開催いたしました。どちらのモジュールも現役メンバーとシニアの先輩と身近な人財を講師としました。モジュールⅣの社内人財では社労士の佐藤学委員長にハラスメント問題について、行政との仕事の仕方では山口俊樹君に市議という立場から行政と

うまく連携して仕事を行う方法や、市への提言により利用できる制度について事業多角化では山下秀一郎君に様々な業種へチャレンジしている内容についてお話をいただきました。モジュールⅤではブランディングについて和田先輩に(株)デイリーマムとしてゴボチ発祥の話から、どのように広がっていったかお話をいただきました。特に「一緒に仕事をしたい人とする」という一言には共感するメンバーも多くいました。そのあとに宮崎青年会議所をブランディングするにはというテーマでパネリストに遠山貴一委員長、日高龍太郎委員長、竹原沙織君、福島大地君に登壇していただき、それぞれの意見を出していただきました。身近に感じることでできるテーマの中で貴重な意見も出て、どの年代のメンバーでも新鮮な意見を聞くことができました。

<リカレント委員会> 委員長 守永 将雄



### まつりえれこっちゃんみやざき

7月23日、3年ぶりとなるまつりえれこっちゃんみやざきを開催いたしました。本年度は会場を高千穂通りにて1日開催となりましたが、「KOKORO 夢に向かって大輪の花を咲かせよう」をスローガンに、宮崎に住み暮らすすべての人が心から楽しみ、それぞれが祭りにかける思い、希望、夢が結実できるよう構築して参りました。開催直前での新型コロナ感染再拡大に伴う一部混乱等もありましたが、当日は天気にも恵まれ、1日約8万人の方にご来場いただくことができました。ニューノーマルの中でえれこっちゃんを開催できたノウハウを次年度へ引き継ぎますので、来年以降もえれこっちゃんへご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

<地域シナジー共創委員会> 委員長 柿塚 健太郎



## 参院選Re:GOTO投票所

7月10日(日)に投開票を迎えた参議院議員選挙に向けて「Re:GOTO投票所プロジェクト」を実施しました。コロナ禍で実施できなかった1月の宮崎市長選挙に引き続き、選挙啓発メッセージ入りの矢印看板を宮崎市内の期日前投票所に設置し投票を促しました。宮崎大学、宮崎南高校の生徒たちと啓発メッセージを考え、国際交流事業の中で市民の方たちと矢印看板を制作し、高校生、大学生、メンバー達と矢印看板を設置し啓発活動を実施しました。参加いただいた多くの方が政治や選挙に関心を持てただけたと思います。

<市民意識向上委員会>委員長 佐土原 慶



## ベトナムサッカー交流



宮崎が在住外国人の方々にとって住みやすいまちになるよう国際交流を推進しています。

今年の1月から、やさしい日本語の普及活動や、和太鼓練習、国際交流イベントの開催など様々なかたちで国際交流を行ってまいりました。

今回は7月31日(日)に、日大高校サッカー部の協力のもとサッカーを通じて国際交流を行いました。高校生にも国際交流を体験していただき、最初はぎこちなかったのですが試合終了後には互いに声を掛け合い、最後にはユニフォームの交換をされていました!!

今後も宮崎青年会議所では国際交流を推進していく、国際交流と青少年の育成の機会を提供し続けたいと思います。

<国際交流委員会>委員長 倉田 猛

## 九州コンファレンス報告

8月19、20、21日の3日間、九州コンファレンス2022 in 糸島が、3年ぶりの実地開催として開催されました。本年は「Image The Future〜7色の糸が織りなすサスティナブル九州〜」を大会スローガンとし、主管LOMであるJCI糸島のメンバーと手と手を取り合い、大会を構築してまいりました。

初日は、糸島の魅力を堪能していただくエクスカーションの3ツアーに加え、ウェルカムレセプションが主管LOMによる準備のもと開催され、同時に大会の成功祈願祭も行われました。2日目は、メイン会場となる九州大学にて、九州地区協議会として活動してきた成果の発表に加え、多くの著名人をお迎えして講演やパネルディスカッションをおこなっていただきました。同時に、たから市、大懇親会も開催され、ご参加いただいた皆さまに、糸島だけでなく、九州中の魅力を体感していただける機会となりました。3日目には大会式典が開催され、本年度会長であり、当LOMより出向している川越 英和君からの挨拶、そして2023年度への引継ぎの場となりました。



JCI宮崎からも多くのメンバーでご参加いただき、九州地区協議会としての運動の方向性、および開催地の魅力を発信する機会とすることができました。ご参加いただいた皆さま、ご支援いただきました多くの皆さまにこの場を借りて感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

<九州地区協議会 九州コンファレンス運営委員会> 内門 洋稀(JCI宮崎)

## 青少年育成事業

子どもたちとインターネットの関係を「抑制」ではなく「正しく活用」に変化させるためには、子どもたちの身近な大人である私たちが「デジタル社会のルール」について共通の認識を持つ必要があります。その「共通認識」の形成のために、「デジタル・シティズンシップ教育」に関する動画を5本配信しています。1本7分程度の短いものですので、ぜひご覧ください。

また、10月7日(金)13:15~14:20には「デジタル・シティズンシップ教育」に関するオンラインセミナーを行います。ぜひ参加いただければと思います。

<青少年育成委員会>委員長 佐藤 学

CHECK!



宮崎JC YouTubeチャンネル  
【デジタルシティズンシップ教育】



ブロック大会、まつりえれこっちゃんみやざきなど昨年まで中止となっていた事業が今年は開催され、また新入会員も30名入会するなど現役メンバーの皆さんの頑張りをみると、本当にうれしく思います。様々な対策を考えながら開催に向けて努力された結果なんだと。私も皆さんの頑張りに刺激をもらい、負けじと色々なことにチャレンジしているつもりです。もう次年度の動きも始まっている時期ですね。今年度の事業を行いながら次年度の準備をしなければいけませんが、充実したものにしてください。そして来年は全国大会宮崎大会から5年経つ節目の年でもありますね。全国のJCメンバーが宮崎に集まったあの光景は今でも忘れられません。あの大変だった時期の経験を引き継いでこれからの事業も素晴らしいものにしていってください。これからのJC活動が皆さんにとって素晴らしいものになることを祈念いたします。